

平成29年度 都城市立 夏尾小学校 学校評価報告書

4段階評価 4・・・期待以上 3・・・ほぼ達成 2・・・やや達成できていない 1・・・達成できていない

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析 改善策等	学校運営協議会の評価
				指標別	総合		
学びの基礎づくり	授業力	児童、保護者のアンケート評価で、AあるいはB評価が80%以上を達成する	校内研究において一人一授業を行い、広く授業を公開すること、日々の授業改善を図っていく。	4	4	<p>本年度は研究主題を『「分かる、できる、できる」ようになる算数科学習指導の研究』として校示における研修を実施し、複数の教科書で指導法を比較したり問題提示や発問の仕方などの指導技術について学んだりするとともに、その効果を検証するための研究授業を実施することにより、個別指導やマスタータイトムなどの指導の定着を図った。特に、算数科においては授業中の習熟の時間を確保することに加え、授業(アグティタイムのコーナー)の時間を活性化させ、「巨マス計算や計算音読」を毎日実施し基礎的な計算力を確実に伸ばさせることとができ、11月には親としていた全児童の読書冊数合計1000冊を達成した。読書に親しむ児童が育まれてきている。</p> <p>日々の授業やあいさつなど、日常的な場面での児童の自己表現力向上をねらった指導を充実させるとともに、その他様々な教育活動の中で児童が積極的に自らの意見や感想を発表する場面を数多く設定してきた。そのため、児童のあいさつや発表などについての教師や保護者、地域の方からの評価は高い。ただ、児童自らの肯定評価は60%にとどまっているため、今後ともこうした取り組みを継続させながら児童の自己肯定感を高め、必要がある。</p> <p>「家庭学習やよりマスタータイトム」を各家庭に配付したり、参観日や学級通信などの学習の理解を深め、家庭学習への取り組みが良くなってきた。今後とも継続して家庭との連携を深めるとともに、学習の目的やその効果、努力の必要性などについて児童の理解を促し、家庭学習への意欲を高めていきたい。</p>	3
	基礎基本	<ul style="list-style-type: none"> 全学年がそれぞれの能力において到達目標の75%以上(各種学力調査)の到達度を達成する。 単元テスト結果で平均80%以上の到達度を達成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の中に習熟の時間を確保するように努め、個別指導の充実を図る。 マスタータイトムの実施方法・内容の見直しと共通理解・共通実践を図る。 	4	3		
	コミュニケーション	児童、保護者のアンケート評価で、AあるいはB評価が80%以上を達成する	夏尾伝統の自分の意見を言える力の継承を図る。 あらゆる教育活動におけるスピーチ活動を充実させる。	3	3		
	家庭学習	「自主的に宿題や学習をする」と答える児童や保護者の割合が70%以上を達成する。	家庭学習の習慣化を各家庭へ呼びかける。学習の目的及び家庭学習の仕方について児童へ継続的に指導する。	3	3		
豊かな心の基本づくり	教育相談	「学校が楽しい」と肯定的な回答をする児童の割合が90%以上を達成する。	児童理解の方策を工夫し状況に応じた相談の充実や体制の整備を行う。	4	4	<p>児童は全員「学校が楽しい」と回答している。また、保護者と地域の全回答者が「児童は学校に楽しそうに通っている」と答えている。毎日の健康観察や児童との対話を大切にしながら児童理解に努め、職員全員が協力して教育相談を支援し児童の思いや悩みに対応してきたことにより、少々の不安や困難があっても充実した学校生活ができていく。</p> <p>アンケート全回答の90%以上が「児童は進んであいさつをしてくる」と肯定的であった。毎週水曜日に小中合同あいさつ運動を実施したり、指導強化月間を設けてあいさつ指導の重点化を図ったことで児童のあいさつをする習慣が確実に身に付いてきた。学校での朝のあいさつやお客様へのあいさつなど、大変良くできている。</p> <p>ほとんどの児童が「きまりを守っている」と肯定的に回答できている。2名が「もう少し」「1名「よくない」と答えている。全体的にきまりは守れているが、時々望ましい廊下歩行ができず、指導を要する場面がある。</p> <p>友だちや周りの人への思いやりのある言動については、保護者と地域の全回答者が肯定的な評価をしている。学校生活においても、様々な場面でも助け合いや高学年に優しく教えるような姿が見られ、学校目標にもある「思いやりのある優しい子ども」が育ってきている。ただし、児童の25%はやや否定的な回答をしており、自己肯定感を高めることにも、他者承認感の育成を図る必要がある。</p>	4
	あいさつ	「進んであいさつをする」と肯定的な回答をする児童の割合が90%以上を達成する。	あいさつ運動を利用し、あいさつに関する指導を行う。 日常指導を継続して行う。	4	4		
	きまり	「きまりよく廊下歩行・安全な登下校」がしっかりと守られていると肯定的な回答をする児童の割合が80%以上を達成する。	集会等を利用して、廊下歩行や登下校に関する指導を行う。 掲示物を常設し意識化を図る。 常時指導を徹底する。	3	3		
	思いやり	アンケートの思いやりの項目について児童、教師、保護者、地域の評価で肯定的な回答が80%以上を達成する。	教育活動の中に自己肯定感を高めるシステムを構築する。 学級運営の中にお互いのよいところを認め合う機会をつくる。 道徳活動の中にコミュニケーションスキルの取り入れられた授業を実施する。 教師一人ひとりが児童理解に努め、温かい雰囲気のある学級経営を行う。	4	4		
体力向上	体育の授業や業間の時間に「体力向上」の取り組みを取り入れることにより、児童の体力向上	全学年が運動能力調査において個人到達目標の75%以上の到達度を達成する。	体力向上の時間を計画的に実施する。 体育授業で十分な運動量を確保する。 機会を捉えて外遊びを奨励する。			本年度は体育振興指導員(都城工業高校の水元教諭)に専門的な指導をお願いして7時間の授業を実施した。その結果、マラソンや跳び箱の運動技能が著しく向上した。特に、全校児童全員が前転や	

健康 安全 の 基 本 づ く り	食育推進 健康管理	児童がいろいろな運動に親しむ機会をつくり、児童の体力を高める。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水泳特別練習を実施する。 ・ 授業中の立腰指導を強化する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後転等の運動の基礎となる技能を習得することができ運動意欲が向上してきた。また、午後の業間の時間を活用して体力向上西岳・夏尾の運動活動一つである「なわとびギネス」や一輪車、持人走などにも取り組み、体力向上を図ってきた。
		10 養護教諭との連携を図り、給食時間や各教科、学級活動等における食に関する指導の充実を図る。食に関する指導の充実を図る。心をもつ児童を育成する。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間指導計画に基づいて食に関する授業を実施する。 ・ ランチタイムでの給食指導の充実と適切な運営を図る。 ・ 給食感謝集会を実施する。 ・ 弁当の日 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の際には、児童にその日の献立に使われている食材や栄養を説明させたりクイズに答えさせたりしながら、食に関する知識を深め関心を高めてきた。また、年3回の「弁当の日」を設定して計画的に実施した。さらに、養護教諭が給食センター（下野栄養職員）と連携して食に関する授業を行った。
		11 P.T.Aや家庭等と連携しながら、「早寝・朝ごはん」の意識の向上を図る。また自分の体は自分で守る児童の育成に努める。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症予防のための手洗い・うがいの徹底を図る。 ・ 学校保健委員会における保護者への啓発活動を実施する。 ・ 学級懇談会や学級指導の中で日常的に指導する。 ・ 保健便りの発行を推進する。 ・ 健康に関する個別指導を行う。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「早寝早起き朝ごはん」については、保護者100%、児童83%が肯定的評価となった。学校では日常的に手洗いやうがいを励行し、学級通信や保健便りの発行、学校保健委員会の開催などを通して保護者の協力を呼びかけ、望ましい食生活や健康な生活習慣の育成を図っている。また、養護教諭が視力と姿勢についての授業を行い「立腰の指導」を強化し児童の健康への関心を高めた。
		12 毎朝の健康観察や特定の運動（水泳・運動会・持久走）の事前健康調査を確実に実行し児童の健康状態を十分把握する。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝の健康観察の確実な実施を行う。 ・ 健康に関する保護者との連絡を密にする。 ・ 事前の調査配布と100%回収に努める。配慮の必要な児童は全職員で共通理解を図る。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水泳学習や運動会・持久走に取り組む前には、それぞれに健康調査を実施し、その結果については必ず全職員が共通理解して指導にあたった。また、学校の施設や遊具などの点検を確実にし、必要に応じて対策を講じながら改善を図ってきた。
教育 課程 全般	教育課程	13 本校独自の特色ある教育課程を編成し、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎学期の教育課程及び教育活動状況を評価し、改善を図る場を数多く設定する。 ・ 共通理解を図る場を数多く設定する。 ・ 行事等は全職員で協力して行う。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度より午前中5時間授業を実施してきたため、従来の午前中4時間授業と比べた。また、午後のアグデタイブタイムが柔軟に活用できるより充実してきた。また、午後の体力向上や体育活動の時間等の取組がより充実してきた。この他、管理職が一部の授業を担当することで複式指導の解消に努めてきた。一方で、体験活動を重視した夏尾ならではの教育課程はしっかりと継続してきた。特に本年度は、恒例の梅干しに加えて干し柿を仕込んだりするなど、新しい活動も取り入れてきた。こうした取組の結果、職員と保護者からの教育課程についてのアンケート回答の肯定割合は、それぞれ100%と89%となった。次年度も夏尾ならではの教育の推進に努めた。 ・ 昨年度と同様に学校便りやWebページによる情報発信を積極的に展開し、開かれた学校づくりを推進してきた。宮崎日日新聞に児童の作品や作文が掲載されたことなどもその成果の一つである。今年度は新たな試みとして地区の有線放送を活用した児童の作文発表も行った。
		14 参観日等を魅力あるものに工夫し、広く学校の取組を発信する。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観日の日程・内容を工夫し、通信等で発信し、参加を促進する。 	4	
	総合的な学習の時間	15 総合的な学習の時間（ふるさと学習）の充実を図り、郷土を愛する心を育てる。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に地域の素材や人材を活用し、学習を活性化させる。 ・ 豊かな体験や児童の自主性・自由な発想を生かせる展開を心がける。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒例となっているオープンスクエアやグラウンドゴルフ等、様々な機会を通して地域との絆を深めてきた。各教科の学習と関連づけた総合的な学習の時間「ふるさと学習」推進の結果でもある。この最大の成果は夏尾の伝統「奴踊り」である。「奴踊り」は学校での発表だけでなく御地や西岳地区の祭りや校外での行事に披露できる財産であり、児童の自りと誇りとして根付いている。現在、保護者や地域の方が伴奏の主となっていて奴踊りが成立している。大変有り難い。学校と同様に地域の財産として今後もしっかり守っていく必要がある。
		16 保護者及び地域の各種団体や施設等との交流を行い、体験活動を積極的に行う。また、学校だよりやWebページで学校の教育活動の周知を図る。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信等で保護者の協力を得ながら、積極的な参加を呼びかける。 ・ 地域の行事等に積極的に協力する。 ・ 学校だよりでの確実な発行をする。 ・ 学校Webページでの充実を図る。 	4	

教 育 課 程	13 本校独自の特色ある教育課程を編成し、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。	・ 教育課程評価やアンケート評価で80%以上を達成する。 (教師・保護者)	・ 毎学期の教育課程及び教育活動状況を評価し、改善を図る場を数多く設定する。 ・ 共通理解をを図る場を数多く設定する。 ・ 行事等は全職員で協力して行う。	4
参 観 日	14 参観日等を魅力あるものに工夫し、広く学校の取組を発信する。	・ 保護者参観率90%以上を達成する。	・ 参観日の日程・内容等を工夫し、通信等で発信し、参加を促進する。	4
総 合 的 な 学 習 の 時 間	15 総合的な学習の時間（ふもと学習）の充実を図り、郷土を愛する心を育てる。	・ アンケート評価で80%以上を達成する。(児童・教師・保護者・地域)	・ 積極的に地域の素材や人材を活用し、学習を活性化する。 ・ 豊かな体験や児童の自主性・自由な発想を生かせる展開を心がける。	4
連 携	16 保護者及び地域の各種団体や施設等との交流を行い、体験活動を積極的に行う。また、学校だよりやWebページで学校の教育活動の周知を図る	・ 保護者、地域からのアンケートで80%以上を達成する。	・ 通信等で保護者の協力を得ながら、積極的な参加を呼びかける。 ・ 地域の行事等に積極的に協力する。 ・ 学校だよりでの確実な発行をする。 ・ 学校Webページの充実を図る。	4

《学校運営協議会の総評》

- ・子ども達の本を読ませたり読み聞かせをしたりすることで、子ども達が本好きになってきていると思う。読書をすれば物事を深く考える力を身に付けることになり、大変良いことなので続けてほしい。
- ・小規模年度としての特性が十分に生かされていると思う。先生方の児童一人一人への指し導が心配していた。しかし、現在は夏尾小学校の児童として楽しい学校生活を送っていて安心している。
- ・本年度御池小学校の休校によって、御池の子ども達も夏尾小学校に通うことになり消し配していた。しかし、現在は夏尾小学校の児童として楽しい学校生活を送っていて安心している。
- ・御池地区の夏祭りには、小学校・中学校とともに積極的に参加してくれて感謝している。特に、「奴踊り」は堂々と誇らしげに披露してくれて夏尾の伝統を感じることができて感激した。
- ・普段学校を訪れる機会が多くなはないが、学校の教育活動を評価するのとはとても難しいと感じている。
- ・学校の先生方は長時間労働を余儀なくされ、夜遅くまで働く時間もあると聞いている。子ども達ののために健康を害することがないよう留意していただきたい。